

# 県内経済情勢報告

## 【奈良経済情勢報告】

### 【平成29年4月判断】

本報告は、経済指標、法人企業景気予測調査や企業ヒアリング等をもとに、前回29年1月判断以降、29年4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断し、県内経済の概況をとりまとめたもの。

平成29年4月26日

財務省近畿財務局

奈良財務事務所

〔連絡・問い合わせ先〕

近畿財務局 奈良財務事務所 財務課

Tel 0742-27-3162 (直通)

奈良財務事務所ホームページアドレス

<http://kinki.mof.go.jp/237.html>



## 1. 総論

## 【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回 (29 年 1 月判断)	今回 (29 年 4 月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

(注) 29 年 4 月判断は、前回 1 月判断以降、4 月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

## (判断の要点)

生産活動は概ね横ばいで推移するなかで、個人消費は持ち直しており、雇用情勢は改善しているなど、全体としては緩やかに持ち直している。

## 【各項目の判断】

項目	前回 (29 年 1 月判断)	今回 (29 年 4 月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	概ね横ばいで推移	概ね横ばいで推移	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	28 年度通期は前年度を上回る計画	28 年度通期は前年度を上回る見込み	→
企業収益	28 年度通期は増益見込み	28 年度通期は増益見込み	→
企業の景況感	「上昇」と「下降」が均衡している	「下降」超で推移している	↘

## 【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策効果もあり、県内経済が持ち直していくことが期待される。一方で、海外経済の動向などに注視していく必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売額は、牽引するヒット商品がない中で、気温の低下により婦人服をはじめ春物衣料などの販売が低調であったことなどから、前年を下回っている。

コンビニエンスストア販売額は、カウンター商品や惣菜等の販売が堅調に推移していることから、前年を上回っている。

乗用車新車登録届出台数は、普通・小型自動車で新型車販売が好調なことから、前年を上回っている。

観光動向は、奈良市内のホテル客室稼働率をみると、前年の宿泊者限定ネットクーポンキャンペーンの反動減等により前年を下回っているものの、客室単価の引き上げにより収益の改善がみられる。

このように、全体では持ち直している。

#### ■ 生産活動 「概ね横ばいで推移」

鉱工業生産指数でみると、太陽電池モジュールの受注が減少したことから、電気機械などで低下しているものの、IoTに使用するセンサー関連や、電気自動車用リチウムイオン電池関連の受注が好調なことから、輸送機械などで増加しており、全体では概ね横ばいで推移している。

#### ■ 雇用情勢 「改善している」

雇用情勢をみると、医療・福祉分野やサービス業で新規求人の増加が続いていることに加えて、事業者都合による離職者の減少が続いていることなどから、平成29年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.22倍と高水準で推移しており、改善している。

#### ■ 設備投資 「28年度通期は前年度を上回る見込み」

○ 製造業では、はん用機械などで前年度を下回っているものの、食料品、化学などで前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

○ 非製造業では、不動産などで前年度を下回っているものの、金融、運輸などで前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

#### ■ 企業収益 「28年度通期は増益見込み」

○ 製造業では、はん用機械などが減益となるものの、生産用機械、輸送用機械などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

○ 非製造業では、宿泊などが減益となるものの、建設、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

#### ■ 企業の景況感 「『下降』超で推移している」

○ 法人企業景気予測調査(平成29年1~3月期調査)の景況判断BSIでみると、現状判断は「下降」超で推移している。

### 【その他の項目】

■ 住宅建設 新設住宅着工戸数でみると、持家で前年を下回っているものの、貸家・分譲で前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

■ 公共事業 前払金保証請負金額でみると、国や府県、地方公社で前年を上回っているものの、独立行政法人等や市町村などで前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

■ 企業倒産 倒産件数、負債総額ともに前年を下回っている。

## 県内の経済情勢に関する生の声 <ヒアリング結果>

### 個人消費

- 今期は衣料品を中心に厳しい状況。特に3月は平年より気温が低かったことから、婦人服をはじめ春物衣料の売上が落ち込んだ。  
(小売業)
- ヒット商品に恵まれず来店客数が減少する中、入学シーズンにより文具などキッズ関連は堅調であるものの、婦人服を中心に衣料品の販売が落ち込んでおり、全体では厳しい状況。  
(小売業)
- 惣菜等の販売が堅調であることに加えて、気温の低下によりおでん等のカウンター商品も好調に推移。  
(小売業)
- 普通・小型自動車の新型車販売が好調なことから、新車登録台数は前年を大幅に上回っている。  
(小売業)
- 昨年の宿泊者限定ネットクーポンキャンペーンによる反動減から客室稼働率は前年を下回ったものの、客室単価を引き上げたことから収益は改善している。また、足下の動きは、春休みが好調で客室稼働率は高水準で推移。  
(宿泊業)

### 生産活動

- 海外メーカーを中心に設備投資が旺盛で、中国をはじめ海外向けのリチウムイオン電池製造装置にかかる受注が好調に推移しているほか、自動運転システムの開発が進んだことでセンサー関連の需要が高まっている。  
(製造業)
- IoTの活用や自動運転システムの開発が進んでいることから、台湾からセンサー関連の受注が伸びている。  
(製造業)
- 太陽電池モジュールは受注がないことから生産量が大きく減少している。  
(製造業)

### 雇用情勢

- 新規求人では、介護施設の増床や新規オープンがあることなどから、医療・福祉で前年を大きく上回っている。事業者都合による離職者の減少も続いている。  
(行政)
- 募集を続けているが、応募もなく人手不足が続いている。賃金を上げるなどの対応を行っているものの動きはない。  
(小売業)

### 企業収益

- 工作機械関連の受注が伸び悩んでいる中、在庫管理の徹底などコスト改善を図った結果、収益が改善し増益見込み。  
(製造業)
- 集合住宅や商業施設の受注が増加していることから増益見込み。  
(建設業)